

事業内容は同じだが、助成金の用途を変更したい場合の記入例

ボランティア・市民活動助成金申請内容等変更申請書

令和〇年〇月〇日

社会福祉法人茅野市社会福祉協議会会長 宛

団体名
代表者氏名
〒391-00××
住 所
電 話

おひさま広場
元気 有子
茅野市〇〇〇1234-5
0266 (73) 〇〇〇〇

送られてきた交付決定通知書の右上の「茅社協第×号」の数字と通知日「令和6年6月7日」「交付金額」を書き写してください。

変更か中止のどちらかを選択して不要欄を二本線で消します。

令和 年 月 日付茅社協第 号で交付決定を受けたボランティア・市民活動助成金について、下記のとおり助成金対象事業を変更・中止したいので、社会福祉法人茅野市社会福祉協議会交付要綱第 12 条第 1 項の規定により申請します。

交付決定年月日	令和6年6月8日	交付額	20,000 円
該当欄に☑	<input type="checkbox"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 助成金用途の変更 <input type="checkbox"/> 事業の中止		
変更内容	【申請内容】 親子講座「ベビーヨガ」 インストラクター 講師謝礼4回分 20,000円 (1回5,000円×4回=20,000円)		
	【变更后】 親子講座「ベビーヨガ」 インストラクター 講師謝礼3回分 15,000円 (1回5,000円×3回=15,000円) 親子講座「心が育つIQ絵本」 講師謝礼 5,000円		
変更・中止理由	毎月1回0～3歳児の子育て中の親子が集まって情報交換している「おひさま広場」では、助成金を活用して今年度はベビーヨガを3ヶ月に1回年4回開催する予定でしたが、会員から「毎日の絵本の読み聞かせに苦勞しているので、読み聞かせのヒントが欲しい」という多くの声が出されたため講師を探したところ良い講師が見つかりました。 そこで、ベビーヨガの講座を3回にして「心が育つIQ絵本講座」を開催したいので、助成金の用途を変更したい。		